

Challenge!

加古川商工会議所の経営指導を受け、さらなる飛躍
に向け「一歩」を踏み出した会員さんを紹介します。

(有)大浦フーズ

代表取締役 おおoura さとし
大浦 智史

所在地：加古川市志方町志方町1312番地
加西市島町190-1
TEL：0790-45-2130
営業内容：牛肉小売、卸売

SDGsを意識した
新事業を展開

好奇心を引き出して
新たな仕事に

「当社は牛肉のなかでも『上ミノ』
だけを専門に取り扱う、他社とは違
うオンリーワン企業を目指していま
す」と語る大浦社長。2年前に先代
社長から会社を継ぎ、新しいことに
挑戦し続けています。

「『あなたの好きなこと・得意な
ことはなんですか?』就職面接の時
に応募者に必ず聞く質問です。人は
自分の好きなことをしている時に、
パフォーマンスが最大化します。そ
して、人の好きには『好奇心』が宿
りますが、この好奇心は引き出そう
としないと、なかなか表面に出てき
ません。好奇心をいかに引き出すか
ということが当社のテーマですが、
昨年このテーマから生まれた事業が
二つあります」と笑顔をみせます。

その事業というのが「上ミノだけ
を使った日本初(当社調べ)のペッ
トフードの共同開発」と「やさしい
ほんプロジェクト」です。大浦さん
は「大量にミノを輸入し、人が食べ
る用に加工していく中で、以前は廃
棄していた部分をペットのおやつ用
に加工して販売をはじめました。メ
ニューの一部は従業員が考案してい

ます。また、やさしいほんプロジェ
クトは、協力いただける企業に回収
ボックスを設置し、不要になった本
を寄付していただき、本のクリーニ
ング・梱包作業を就労支援B型事業
所の方に委託しています。コロナ禍

で建設現場や事業所の清掃など、仕
事がなくなった話を聞き、作業して
もらえる仕事を増やし、地元加古川
に何か恩返できればという気持ちか
らこのような事業を思いつきました。
クリーニングの際に最新技術で特許
を出願中の、オゾファインで拭き取
りをし、きれいになった本を販売し
て工賃を生み出しています。このプ
ロジェクトの責任者には、当初から
アイデアを出していたパート社員が
就いています。両事業の統一感の無
さに驚かれますが、実は本業で培っ
た衛生管理技術の活用と社内提案制
度による従業員の意見が活かされて
いるという共通点があります。化学
系の資格を取得する従業員も増えま
した。どちらの事業も開始から一年
で多くの方や事業者様からご支援を
頂き、反響の大きさを感じています。
社内全員で好きなことを追求して新
しいものを生み出していき、SDG
sの目標でもある、福祉や廃棄物を
減らすことに少しでも貢献できれば

嬉しい、この取組を今後も続けてい
きたいと思っています」と熱い気持
ちを語ります。

除菌能力を高めて
菌数を少なく

「衛生的で安全性の高いミノ加工
を追求すべく設備の導入を計画して
おり、多額の投資になることから補
助金の活用について商工会議所に相
談をしました。その中で事業計画の
策定にも助力を頂き、改めて自分
がしたいことや会社として向かうべき
方向性を再確認できました。無事に
補助金も採択され、新設備を活用し
た新製法にチャレンジすることに今
はワクワクがとまりません」と先を
見据えます。



ミノだけを使用した
ペットのおやつ
“Chooodai”



ミノだけを取扱うことで交差汚染を防げます